

① 生活安全の問題について

新潟県において児童が行方不明となり、他殺体で発見されました。その後、容疑者が逮捕されましたが、普段平穏な地域において、このような事件が起きたことは、「住宅の町長与町」の住民にとってもショックであり、不審者等への対応について関心が高まっているものと思われます。

- (1) 不審者による声かけや、それに類似した事案は発生していますか(対象は児童、生徒に限定せず)。また、現在どのような対応がなされているのかがいます。
- (2) 5月、滋賀県で、増水した側溝に児童が流され死亡するという痛ましい事故が起きました。本町では毎年地域ごとに危険箇所の調査が実施されていますが、雨天時、増水時の状況を考慮した側溝や河川などの状況把握が必要と思われます。排水に勢いがつく斜面地の側溝、河川付近の安全対策について、町の見解をうかがいます。

② 生活環境の課題について

長与町の住環境が快適で、その環境が維持されることは住民の願いであると考えます。そこで動植物に関する生活環境の問題で以下を質問します。

- (1) 野良猫の増加にともない住宅敷地内での猫の糞害に困っているとの話が出ています。これを解決するためには住民と行政の協力態勢が欠かせないと考えますが、態勢はできているでしょうか。
- (2) 犬、猫の殺処分を減らすため、譲渡会や地域猫活動との連携は機能していますか。
- (3) 5月以降、オオキンケイギクの繁茂が見受けられます。この植物は繁殖力が非常に強く、在来植物の生態や環境を一変させることから駆除が必要とされています。しかし、黄色のコスモスに似ていることや、環境への悪影響があまり周知されていないため、住民による自発的な駆除があまりなされていないように思われます。また住民が処理するには危険な斜面地の場合もあります。行政としてどのような対応を考えていますか。